

# 平成28年熊本地震ボランティア派遣報告書

宮崎市郡薬剤師会 岡元伸二郎

4月14日21時26分熊本地震が起きました

五年前の東日本大震災の石巻市に続き、今回も被災地の避難所に行かせていただき、感謝しています。行かせてもらえるのも、岡元薬局を守ってもらえる家族・職員そして応援して下さる会員や多くの方々の協力があるおかげです。

今回は、4月17日(日曜日)朝六時半に宮崎を発ち、熊本県薬に九時過ぎに到着、益城町保健福祉センターに行って、10時くらいより、DMAT・JMAT・自衛隊に対する調剤・投薬を始めました。

ここで避難されている方の食事は、自衛隊が作るおにぎりと味噌汁だけの対応で、東北と同じでした。

ただ私達には当然食事は用意されておらず、私達が持参したパンを朝食べただけでした。

持っていったパンと飲み物は、食べていない他県の薬剤師に差し上げました。

途中からは、三人がエミナース避難所でのDMATに対応する形での調剤・投薬で出かけ、私一人が益城町保健福祉センターに残り、他県の薬剤師の方々と一緒に六時ぐらまで仕事をしていました。

仕事内容は、モバイルファーマシー(大分県薬剤師会移動薬局)で調剤して投薬するという仕事でした。

処方内容は、頭痛薬・打撲による湿布・風邪薬・便秘薬などが多く、慢性疾患の処方箋はあまりありませんでした。

またここには、DMAT・JMATそして自衛隊の三医療機関があり、ドクターが多くいました。

そこで、受付の方にお薬手帳は何割の方が持って来ていますか？

と尋ねますと一割ぐらいとのことで、そのことをモバイルファーマシーに戻り、他県の薬剤師に伝えますと、二日前からここに入っていた薬剤師の先生が最初に同じ質問をした時は、三割の方が持っていましたとの回答でした。

これは、受付の方やドクターなど何人もの人達が入れ替わるので、受付の方が、お薬手帳持参しているかの質問をしなくなってしまうことが原因のようです。

また追加された医薬品の情報を、三ヶ所のドクターに伝える係がないことに気づき、すぐに事務の方にコピーしていただき配布しました。たぶん五年前の石巻市の経験がいかされたと考えています。

そして夜7時くらいになり、三人と合流して、30分以上かけて県薬に戻り、お湯をいただき、カップ麺を食べて休むことを考えていましたところ、今回は、24時間体制とのことで、引き続きエミナース避難所で朝まで調剤・投薬をして欲しいという熊本県薬の依頼があり、エミナース避難所に移動しました。

ところが、ここには医療チームは看護師二人だけでドクターはいなく、30分以上も時間をかけて移動してきましたが、情報が混乱しており、残念な結果でした。

四人は、前日にあまり睡眠が取れず(土曜日の夕方に委員会で四人のメンバーが決まりました。当然、ボランティア保険にも入っていません。)朝の六時に宮崎を出発し、運転して、調剤・投薬を六時まで働いていたため疲れ果てており、エミナース避難所で一夜を過ごすことを熊本県薬に了解してもらいました。

この時夜の九時過ぎでした。

それからエミナース避難所を見わたすと、ここには、焼きビーフンに、ステーキ入りスパゲティ、飲み物も何でもあるので、益城町社会福祉センターと距離は離れていないのにあまりにも避難されている方に対する食事の内容の違いを感じました。(後でわかったことですか、エミナースは熊本空港のすぐ近くにある熊本空港ホテルで、輸送物資が最初に届いたのだと考えられます。)

深夜12時くらいに休むことが出来、仮眠が取れたことで、疲れが少しでも取れ、次の日の鋭気が戻りましたが、今度は朝になってもDMATがきません。

DMAT が来るまで、健康相談コーナーに切り替えました。

この相談では、慢性疾患やエコノミークラス症候群と思われる内容が増えてきました。

ところがドクターがいまないので、主治医の先生に連絡してみるようアドバイスをしたり、足のふくらはぎのストレッチをするよう一緒に運動をしたり、血圧を測定してあげたりしていました。

そのうち次の宮崎から来る交代の引き継ぎの時間がせまり、ドクターもいないので、熊本県薬に戻りました。そして熊本県薬との話し合いの結果、今後エミナース避難所にはDMAT も入るということでしたので、エミナース避難所の管理は、宮崎県薬剤師会が責任を持って仕事をしますと了解し、次のメンバーに引継ぎをして帰路につきました。

今回の感想は、五年前の東日本大震災の時は、八日間の日程（交通だけで4泊5日）でしたが、一泊二日の割には、疲労度は歳のせい、情報の混乱のせいでのストレスのせい、前回以上の疲労がありました。また避難されているほとんどの方が、車中避難であるため、今後エコノミークラス症候群を心配しています。今回の熊本県への物資の供給は東北よりかなり早いと考えますが、まだ三日目で情報の混乱に振り回され、正確な伝達・しっかりとした統制が出来ていないことを実感して帰って来ました。

そして宮崎市薬での報告・伝達委員会の次の日に、確認ミスから宮崎市薬でもトラブルが生じました。

今回、改めて、情報の伝達・確認そして相談つまり「ホウ・レン・ソウ」の重要性を感じました。

そして、今回も「頑張ってください」は禁句です。被災者の方は充分頑張っていると思います。「元気を出してください。私達が頑張ります。」をお願いします。

そして一日でも早い復興を心より願います。